

平成30年度

## 第3回 環研カンファレンス

### 「生体恒常性維持の分子メカニズム」

日 時：2018年12月21日(金) 15:00 ～ 17:00

場 所：環境医学研究所 南館大会議室

演題1 「ゲノム安定性を維持するヒト細胞のDNA 損傷トレランス」

金尾 梨絵

(名古屋大学 環境医学研究所 ゲノム動態制御分野 助教)

演題2 「染色体の恒常性維持に必須なヒト SMC5/6 複合体の役割を探る：オーキシソグロン法を中心とした新しいヒト分子細胞遺伝学を用いて」

夏目 豊彰

(国立遺伝学研究所 分子細胞工学研究部門 助教)

演題3 「Orexin and MCH neurons double ablated mice showed severe sleep attack and cataplexy」

Chi Jung Hung

(名古屋大学 環境医学研究所 神経系2分野 博士後期課程1年)

演題4 「約24時間周期のリズムを生み出す体内時計の分子基盤」

吉種 光

(東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻 助教)

本年度第3回環研カンファレンスは、生体内での様々な恒常性維持機構について最前線の研究を外部から若手研究者の先生をお招きし、ご紹介いただきます。本研究所における若手研究者の関連研究も紹介し、討論を介して生体恒常性を維持する分子メカニズムについての理解を深めます。